

平成 30 年度病害虫発生予察情報 注意報 第 1 号

平成 30 年 7 月 25 日
岩手県病害虫防除所

キュウリ炭疽病の発生が広くみられ、今後の多発が予想されます。発病葉の摘み取り処分と予防散布を徹底しましょう。

- 1 対象作物、病害虫 : きゅうり、炭疽病
- 2 対象地域 : 県下全域
- 3 発生時期 (加害時期) : -
- 4 発生量 : 多
- 5 予報の根拠

- (1) 7月下旬の巡回調査では広く発生が見られ、発生圃場率は平年より高い(図1)。
- (2) 今後の降雨により、さらなる発生増加が予想される。

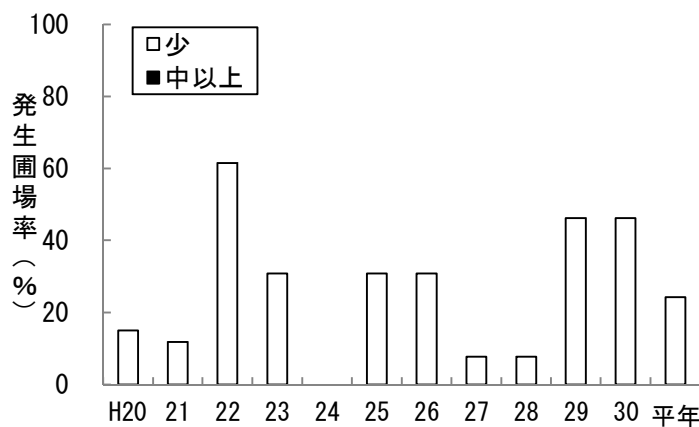


図1 炭疽病の発生圃場率の年次推移 (7月下旬)

6 防除対策

- (1) 発病後の薬剤散布は効果が劣るので予防散布を徹底する。
- (2) 雨媒伝染により発生するので、長雨、台風等の前後は重点的に薬剤散布を行う。
- (3) 発生を確認した場合は、発病葉を摘葉後、ゲッター水和剤やダコニール 1000 を選択し散布する。
- (4) 薬剤散布は、株全体の葉の表裏にかかるよう、アーチの両側から十分量をムラなく散布する。
- (5) 適切な肥培管理を行い、草勢の維持に努める。

～現在、農薬危害防止運動実施中(6月1日～8月31日)～
高温が続いているので、薬剤散布等管理作業にあたっては、熱中症に十分注意しましょう。

【利用上の注意】

本資料は、平成 30 年 7 月 13 日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・農薬使用の際には、(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳 を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

アドレス<http://i-agri.net/Index>